



第3回

# 港区連携PEGパス研究会



# 港区連携PEGパスについて

港区連携PEGパス研究会  
代表幹事 武藤正樹

# 港区連携PEGパス研究会の 取り組み

- 第1回港区連携PEGパス研究会(2007年11月)
  - 済生会中央病院と三田病院の外科でスタート
  - その後、港区内の病院関係者でワーキンググループが発足
    - 連携パスの運用のため港区内のPEG造設基幹6病院が集まった、年4回のワーキンググループ開催
- 第2回連携PEGパス研究会の開催(2008年9月)
- 第3回連携PEGパス研究会(2009年9月5日)

# 連携PEGパス研究会 ワーキンググループ

2007年9月22日 第1回連携PEGパス研究会

2007年11月29日～ ワーキンググループ開始



**(メンバー) 港区内200床以上6病院の  
PEG施行Dr及び連携室、港区医師会、  
港区薬剤師会、訪問看護ST、  
NPO法人PEGドクターズネットワーク  
(活動内容) 港区内PEGに関する問題  
の抽出、連携PEGパスの作成  
運用マニュアル作成検討  
PEG当番等**

# 港区連携PEGパス研究会は 港区内で拡大中

- 港区基幹6病院
  - 国際医療福祉大学三田病院
  - 東京都済生会中央病院
  - 慈恵大学病院
  - 虎の門病院
  - 北里研究所病院
  - せんぽ東京高輪病院
- NPO法人PEGドクターズネットワーク
- 港区訪問看護ステーション連絡協議会
- 港区医師会、港区薬剤師会、港区歯科医師会

# 港区連携PEGパス研究会 ワーキンググループ

	施設名	所属	氏名
病院	国際医療福祉大学大学院	教授	武藤 正樹
病院	国際医療福祉大学三田病院	消化器センター	久保田 啓介
病院	国際医療福祉大学三田病院	地域医療連携・相談室	藤田 妙子
病院	東京慈恵会医科大学	外科学講座	矢野 文章
病院	虎の門病院	消化器外科	上野 正紀
病院	虎の門病院	医療連携部	岡田 有加
病院	北里研究所病院	外科	首村 智久
病院	北里研究所病院	連携室	羽山 智子
病院	せんぼ東京高輪病院	外科	小山 広人
病院	せんぼ東京高輪病院	地域医療連携室	倍田
病院	慶応義塾大学	医学部漢方医学センター	今津 嘉宏
港区医師会	口羽医院	港区医師会理事	口羽 謙二
薬剤師会	虎の門中央薬局	港区薬剤師会会長	龍岡 健一
薬剤師会	清水薬局	港区薬剤師会理事	清水 晴子
訪看ST	港区訪問看護ステーション連絡会	六本木所長	内田 恵美子
訪看ST	港区訪問看護ステーション連絡会	三田所長	分枝 一枝
訪看ST	港区訪問看護ステーション連絡会	目黒所長	広川 直美
NPO	PEGドクターズネットワーク	事務局	神谷 進
保健所	みなと保健所	所長	青山 キヨミ
事務局	済生会中央病院	消化器外科	鳥海 史樹
事務局	済生会中央病院	地域医療センター病診連携室	阿部 正
	(株)大塚製薬工場	東京営業所	佐賀 祐二

# 連携PEGパス研究会と ワーキンググループ

2008年9月27日 第2回連携PEGパス研究会

実態調査アンケートを元に作成したPEG地域  
連携クリティカルパス・PEG依頼用紙等を検討

・ワーキンググループ実施日

2008年11月3日、12月10日

2009年1月14日、4月15日、6月18日、7月27  
日

「港区連携PEGパスマニュアル第一版」が完成

# 港区連携PEGパスマニュアル～第1版～

☆かかいつけ医

連絡先:

☆かかいつけ訪問看護ステーション

連絡先:

☆かかいつけ薬局

連絡先:

☆PEG造設先病院

連絡先:

患者さま名

---



※ この冊子は患者さまが保管し、PEGの交換・トラブル等で病院に行かれる際は、必ず持参してください。

連携PEGパス研究会



# 目次

▪ 連携PEGパス研究会の紹介	p.3
▪ 病院案内	p.4
▪ PEGカテーテルの種類	p.6
▪ 経腸栄養剤の種類	p.7
▪ 必要となる道具	p.8
▪ 使用PEGカテーテル・経腸栄養剤一覧	p.9
▪ ご連絡いただいてから、PEG造設・交換までの流れ	p.12
▪ 事故抜去など、PEGトラブル時の緊急対応の流れ	p.14
▪ 連携PEGパス手帳記載例	p.16
▪ PEG造設・交換診療情報提供書	p.18
▪ PDN等PEG情報サイト紹介	p.19
▪ 病院緊急時連絡先	p.20

## はじめに ～連携PEGパスマニュアルとは？～

近年の人口高齢化や、内視鏡技術の進歩、経腸栄養療法の発達によって、内視鏡下でのPEG造設を受けられる患者さんの数が急増しております。PEGとは、経皮的(Percutaneous)内視鏡的(Endoscopic)胃ろう造設術(Gastrostomy)の頭文字をとった略語で、種々の疾患によって経口摂取が困難になった患者さんに内視鏡下で、腹壁より胃内に栄養チューブを挿入し栄養剤を注入する方法です。

このPEGの実態について、連携PEGパス研究会では、2008年6月に港区を中心にアンケート調査を実施させていただきました。その結果、アンケートに協力していただいた診療所、訪問看護ステーション、病院、老人保健施設、特別養護老人ホーム等73施設において、PEGの患者さんの数は500名近くに上りました。おそらくこの数は今ではもっと増えていると考えられます。

またこのアンケート調査では、PEGに関する以下のようなさまざまな課題も見えてまいりました。PEGにともなうスキントラブル、下痢や便秘、栄養剤の漏れ、PEGチューブの交換方法、またチューブ事故抜去時の対応などが、患者さんとその家族、医療関係者、介護福祉関係者の間での共通の課題であることもわかりました。

こうしたPEGに関する地域での課題に取り組むために、わたしども連携PEGパス研究会は2007年9月より活動を続けております。研究会のメンバーは港区内のPEGを造設する病院の勤務医、港区医師会の先生方、港区薬剤師会、港区訪問看護ステーション連絡協議会、NPO法人PEGドクターズネットワークに皆様方です。研究会の目指すところは、港区におけるPEGケアの質と安全の向上であります。

研究会では、こうした検討の中から、今回、港区連携PEGパスマニュアルを作成いたしました。このマニュアルはPEGを受けられた患者さんや患者さんの家族に携帯していただいて、PEGケアにかかわる地域のすべての方々の情報共有ツールとして使用していただくように作りました。「パス」という言葉ですが、PEGを受けられた患者さんが通る診療の道筋(パスというのは小道のことです)という意味もありますが、これを携帯していただければ地域のどこの医療機関に受診されても、患者さんの情報の共有ができるという意味で情報の通行手形(パスポート)の意味合いも込めました。

まだこのマニュアルは第1版ですので、実際に使用していただいて、ご意見を賜り、改良を重ねていきたいと思っております。ぜひこの連携PEGパスマニュアルをご利用いただき、ご意見のほどを頂きたく存じあげます。


2009年1月吉日


港区連携PEGパスマニュアル  
ダウンロード先  
<http://masaki.muto.net/>

連携PEGパス研究会代表幹事  
武藤正樹  
(国際医療福祉大学三田病院副院長)


# 病院案内

医療機関名	東京都済生会中央病院	
住所	東京都港区三田1-4-17	
連絡窓口	地域医療センター	
電話	03-3451-8211	
FAX	03-3451-6102	
ホームページ	<a href="http://www.saichu.jp/">http://www.saichu.jp/</a>	
対応時間	9:00 ~ 17:00	
上記以外の 連絡先について	地域医療センターが繋がらない場合は救急外来に御連絡下さい。	

医療機関名	国際医療福祉大学三田病院	
住所	東京都港区三田1-4-3	
連絡窓口	地域医療連携室	
電話	03-3451-8062	
FAX	03-3451-8345	
ホームページ	<a href="http://mita.iuhw.ac.jp/">http://mita.iuhw.ac.jp/</a>	
対応時間	9:00 ~ 16:30	
上記以外の 連絡先について	地域医療連携室に繋がらない場合は病院代表電話(03-3451-8121)に御連絡ください。	

医療機関名	北里研究所病院	
住所	東京都港区白金5-9-1	
連絡窓口	医療連携室	
電話	03-5791-6135	
FAX	03-5791-6344	
ホームページ	欄外に記入	
対応時間	8:30 ~ 17:00(土は12:00迄)	
上記以外の 連絡先について	①紹介状をFAXでお送り下さい。 ②代表03-3444-6161で医療連携室と申し込んで下さい。	


医療機関名	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	
住所	東京都港区虎ノ門2-2-2	
連絡窓口	医療連携部	
電話	03-3560-7823	
FAX	03-3560-7878	
ホームページ	<a href="http://www.toranomon.gr.jp">http://www.toranomon.gr.jp</a>	
対応時間	8:30～17:00(平日)	
上記以外の 連絡先について	病院休診日・時間外は急患処置室にご連絡ください。 03-3588-1111(代) ※新規PEG造設は受け付けていません	



医療機関名	せんぽ東京高輪病院	
住所	東京都港区高輪3-10-11	
連絡窓口	地域医療連絡室	
電話	03-3443-9576	
FAX	03-3443-9570	
ホームページ	<a href="http://www.sempos.or.jp/tokyo/">http://www.sempos.or.jp/tokyo/</a>	
対応時間	平日 8:30～17:10(土曜日 12:40)	
上記以外の 連絡先について	地域医療連絡室がつかない場合は、代表番号(03-3443-9191)にご連絡下さい。	



医療機関名	東京慈恵会医科大学附属病院	
住所	東京都港区西新橋3-25-8	
連絡窓口	医療連携室	
電話	03-5400-1202	
FAX	03-5401-1879	
ホームページ	<a href="http://www.iikei.ac.jp/hospital/index.html">http://www.iikei.ac.jp/hospital/index.html</a>	
対応時間	平日 9:00～17:00	
上記以外の 連絡先について	医療連携室がつかない場合は、代表番号(03-3433-1111)にご連絡下さい。	



# PEGカテーテルの種類

PEGカテーテルは、胃の内側と外側のストッパーの形状から4つのタイプに分けられます。

胃の内側のストッパーは「バルーン」か「バンパー」の2種類、胃の外側のストッパーも「ボタン」か「チューブ」の2種類あり、その組み合わせで4種類となります。

以下、それぞれのストッパーの長所と短所、製品例について紹介します。

		胃の内側にある形状	
		バルーン型	バンパー型
お腹から外の形状	ボタン		
	チューブ		

## 【 胃の内側のストッパーの形状 】

### ・バルーン型

長所:バルーン内の蒸留水を抜いて挿入・抜去（出し入れ）するので、交換が容易である

短所:バルーンが破裂することがあり、短期間で交換になることがある

### ・バンパー型

長所:カテーテルが抜けにくく、交換までの期間が長い

短所:交換時に痛みや圧迫感を生じる

## 【 胃の外側のストッパーの形状 】

### ・ボタン

長所:目立たず動作の邪魔にならないため自己抜去がほとんど無い  
栄養剤の通過する距離が短いのでカテーテルの汚染が少ない  
逆流防止弁がついている

短所:指先でボタンを開閉しづらい場合がある

### ・チューブ製品一覧

長所:投与時に栄養チューブとの接続が容易である

短所:露出したチューブが邪魔になり自己抜去（引っばって抜く）しやすい  
チューブ内側の汚染が起きやすい

	バルーン型	バンパー型
ボタン	カンガルーミニボタン	カンガルーボタンⅡ ポストワンステップボタン オリンパスイディアルボタン など
チューブ	カンガルーバルーンGチューブ	バードファストラックPEGキット ポンスキーNBRカテーテル

# 経腸栄養剤の種類

## 【医薬品と食品】

経腸栄養剤には、**医薬品扱い**のものと**食品扱い**のものがあります。**医薬品扱い**のものは医療保険の適応となりますが、**食品扱い**のものは濃厚流動食ともよばれ全額自己負担となります。**医薬品扱い**のものは保険薬局で取り扱っており、**食品扱い**のものは一部の保険薬局で取り扱っています。配達については、一部保険薬局にてご相談に応じて行います。

## 【経腸栄養剤の組成】

窒素源別に大きく2種類に分けられます。また、各種病態別の栄養剤もあります。

- ① **消化態経腸栄養剤** 窒素源であるタンパク質が分解された形(アミノ酸など)で配合されています。消化吸収能力の低い患者さまが使用します。無脂肪タイプの製品もあります。 されて
- ② **半消化態経腸栄養剤** 窒素源としてタンパク質が配合されています。1kcal/ml製剤も使われていますが、水分制限が必要な方のために2kcal/mlの製剤もあります。 が最
- ③ **特殊疾患用栄養剤** 肝疾患用、腎疾患用、糖尿病用等の製品があります。

## 【経腸栄養剤の性状】

粉末、液状、ゼリーの3種類に分けられます。その他に液状の栄養剤にまぜてとろみをつけるとろみ剤もあります。

- ① **粉末タイプ** 水に溶かして投与します。溶かすための専用のゼリルが必要 にた
- ② **液状タイプ** イルリガートルに詰め替えて投与するイルリガートルの必要のない
- ③ **ゼリータイプ** 寒天、ゼラチン等で固めたゼリルとして効果があるということで近年普及しています。ゼリルもありますので、購入前にかかりつ

	消化態	半消化態	特殊疾患用
粉末	エレンター ル		アミノレバンEN ヘパンED
液状	ツインライ ン ペプチーノ	ラコール エンシュアリキッ ド ハイネ テルミール テルミールミニ など	グルセルナ プルモケア リーナレン レナウエル など
ゼリー		ハイネゼリー PGソフト など	

医薬品は赤字で、食品は黒字で記載しています。

# 必要な器具

PEGから栄養剤を投与するとき

に必要な器具としては、

- ① イルリガートル(注入容器)
  - ② 栄養セット
  - ③ 接続チューブ
  - ④ シリンジ
- があります。

## ① イルリガートル(注入容器)

栄養剤を入れるボトルや袋です。栄養剤自身がイルリガートの役割をしているバック型製剤では、イルリガートルは必要ありません。イルリガートルは、病院またはかかりつけ医からもらえます。

## ② 栄養セット

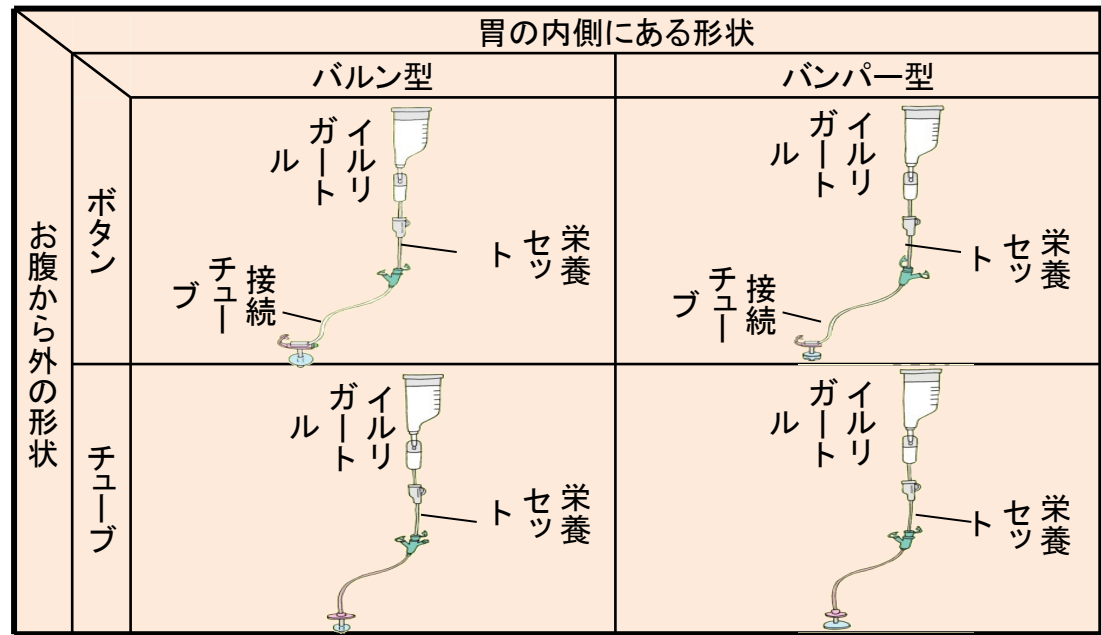
イルリガートルとPEGカテーテルをつなぐセットです。イルリガートルと栄養セットが一本になってくる製品の場合、交換時に新しいものは必要ありません。栄養セットも病院またはかかりつけ医からもらえます。

## ③ 接続チューブ

## ④ シリンジ

針のついていない注射筒です。薬を溶いて注入したり、投与前後のぬるま湯の固定水を注入したりします。用途によって専用のものを用意しましょう。

その他、粉末の栄養剤であれば溶かすための大きなボウルや、薬を溶かすための清潔に管理しましょう。また、器具についてのお問い合わせは病院または訪問看護ステーション、かかりつけ薬局までご



外側の形状がボタンカテーテルの場合に必要なチューブで、これと栄養チューブを接続する製品の場合があります。新しいものは必要ありません。メーカーごとに規格が異なりますので、必ずカテーテルに付属しているものが重要です。

接続チューブは3種類あります。通常は(A)持続投与用を使用しますが、ゼリー状栄養剤を使用する場合は(B)減圧用を使用します。また



# 使用胃ろうカテーテル・栄養剤一覧

## ■ 東京済生会中央病院

### PEGカテーテルについて

バルン型ボタン (カンガルーミニボタン) バンパー型ボタン (カンガルーボタンⅡ)

バルン型チューブ (カンガルーバルーンGチューブ) バンパー型チューブ ( )

※上記以外の製品の対応 可・不可

### 栄養剤について

医薬品 (エレンタール、ヘパンED、アミノレバンEN、エンシュアリキッド、ラコールなど)

食品 (ハイネ、テルミール、テルミールミニなど)

固形化への対応 可・不可 (エレンタールゼリーなど)

※上記以外の製品の対応 可・不可

## ■ 国際医療福祉大学三田病院

### PEGカテーテルについて

バルン型ボタン ( ) バンパー型ボタン (カンガルーボタンⅡ)

バルン型チューブ ( ) バンパー型チューブ ( )

※上記以外の製品の対応 可・不可

### 栄養剤について

医薬品 (ラコール、エンシュア、エレンタール、アミノレバン)

食品 (サンエット、テルミール、テルミールミニ、インパクト、グルセルナ、リーナレンなど)

固形化への対応 可・不可 (リカバリー、テルミールPGソフト)

※上記以外の製品の対応 可・不可



## ■北里研究所病院

### PEGカテーテルについて

- バルン型ボタン ( ) バンパー型ボタン (ポストンワンステップボタン)
- バルン型チューブ ( ) バンパー型チューブ ( )

※上記以外の製品の対応 可・不可

### 栄養剤について

- 医薬品 (アミノレバンEN、エレンタール、エンシュア・リキッド(バニラ、コーヒー)、ツインライン、ハーモニックF、ラコール)
- 食品 (テルミールミニ、CZポチ、CZ-Hi、テルミールPGソフト)

固形化への対応 可・不可 ( )

※上記以外の製品の対応 可・不可

## ■虎の門病院

### PEGカテーテルについて

- バルン型ボタン ( ) バンパー型ボタン (カンガルーPEGキット、カンガルーボタンⅡ)
- バルン型チューブ ( ) バンパー型チューブ (バードファストラックPEGキット・ポンスキーNBRカテーテル)

※上記以外の製品の対応 可・不可

### 栄養剤について

- 医薬品 (エンシュアリキッド、ラコール、アミノレバンEN、ヘパンED、エレンタールなど)
- 食品 (テルミールなど)

固形化への対応 可・不可 (RFF-P-1)

※上記以外の製品の対応 可・不可

## ■せんぽ東京高輪病院

### PEGカテーテルについて

バルン型ボタン ( ) バンパー型ボタン (オリンパスイディアルボタン)

バルン型チューブ ( ) バンパー型チューブ (バードファストラック)

※上記以外の製品の対応 可・不可(交換は主にイディアルボタンに)

### 栄養剤について

医薬品 (エレンタール、ラコール、エンシュアリキッド、アミノレバンEN)

食品 (リカバリーmini、エフツーα、ペプチーノ、レナウエル3、レナウエルA、リーナレン)

固形化への対応 可・不可 (エフツーショット、プッシュケア)

※上記以外の製品の対応 可・不可

## ■東京慈恵会医科大学附属病院

### PEGカテーテルについて

バルン型ボタン ( ) バンパー型ボタン (オリンパスイディアルボタン)

バルン型チューブ ( ) バンパー型チューブ (カンガルーバンパ-Gチューブ)

※上記以外の製品の対応 可・不可

### 栄養剤について

医薬品 (ラコール、エンシュアリキッド、ツインライン、エレンタール、アミノレバンEN、ヘパンED)

食品 (なし)

固形化への対応 可・不可

※上記以外の製品の対応 可・不可



# 連携PEGパス運用手順

- ① かかりつけ医からPEGについての説明をうけます。PEGを造りたい患者さまは、  
かかりつけ医にその旨を伝えます。
- ② かかりつけ医が『診療情報提供書』を病院にFAXした後、造設日を決めます。  
必要に応じて『港区連携PEGパスマニュアル』のPEG造設・交換診療情報提供書  
をご利用下さい。
- ③ 患者さまは入院予定日に直接希望された病院におこしてください。  
入院手続きの際に『港区連携PEGパスマニュアル』と『胃ろうトラブル対応マニ  
ュアル』をお渡しします。
- ④ 退院の際に患者さまに『連携PEGパス手帳』をお渡しします。入院時にもらった  
『港区連携PEGパスマニュアル』にはさんでご自宅に持ち帰ってください。  
後日、『連携PEGパス手帳』をかかりつけ医にお渡しし、かかりつけ医診療後、  
ご自宅にお持ち帰りください。

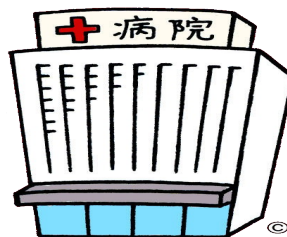
# PEGを交換するまでの流れ



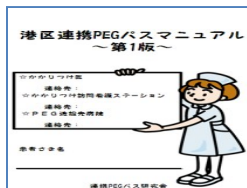
② 診療情報提供書を病院にFAX



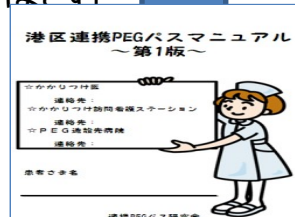
③ 病院に港区連携PEGパスマニュアル↓を持っておこしてください。



\* 連携PEGパス手帳も併せてお持ちください。

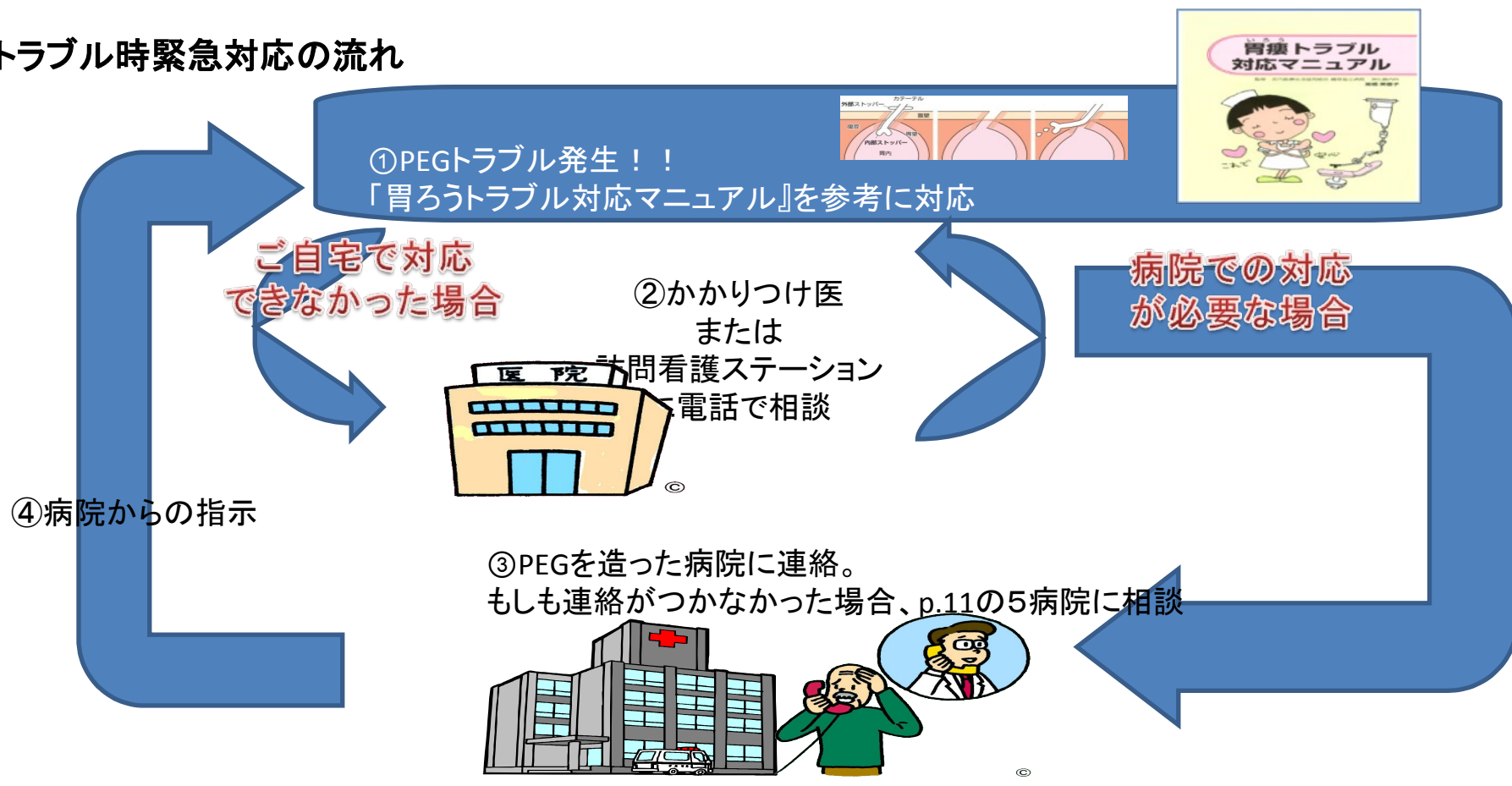


④ 退院時に連携PEGパス手帳を受け取り、マニュアルにはさむ。



- ① PEG交換予定日が近づいてきましたら、かかりつけ医と今使用中のPEGで問題はないか相談します。
- ② かかりつけ医が『診療情報提供書』を病院にFAXした後、交換日を決めます。必要に応じて『港区連携PEGパスマニュアル』のPEG造設・交換診療情報提供書をご利用ください。
- ③ 患者さまは指定された日に直接病院におこしてください。その際『連携PEGパス手帳』を『港区連携PEGパスマニュアル』に挟んで持ってきてください。
- ④ お帰りの際に患者さまに『連携PEGパス手帳』をお渡しします。もらった『港区連携PEGパスマニュアル』にはさんでご自宅に持ち帰ってください。後日、『連携PEGパス手帳』をかかりつけ医にお渡しし、かかりつけ医診療後、ご自宅に持ち帰り下さい。

# トラブル時緊急対応の流れ



- ① トラブルが発生した時には、まず『胃ろうトラブル対応マニュアル』の通り、ご自宅にて対応してください。
- ② ご自宅での対応が難しい時には、『港区連敬PEGマニュアルファイル』の表紙に記載されているかかりつけ医または訪問看護ステーションに相談してください。
- ③ 病院での対応が必要であれば、p.11の5病院に電話にてご連絡ください。まずPEGを造った病院へご連絡いただき、対応が困難であれば他の5病院のいずれかにご連絡ください。
- ④ 病院の指示に従い対応してください。
- ⑤ トラブル内容と対策について、『連携PEGパス手帳』に記載してください。

# ご自宅での対応できること

## 1. 吐いている

- 対応:
- ・体位を工夫する(上半身を起こす。または右向きにする)
  - ・栄養剤の注入速度を変更(少しずつ、ゆっくり注入する)

## 2. 下痢をしている

- 対応:
- ・栄養剤の注入速度を変更(少しずつ、ゆっくり注入する)
  - ・栄養剤の温度を確認(冷たすぎないこと、室温程度が目安)

## 3. 便秘になっている

- 対応:
- ・水分の注入量を増やす
  - ・野菜ジュースなどの注入(繊維を補給、栄養剤とは別にする)
  - ・腹部マッサージ

## 4. 皮膚がただれている、栄養剤が漏れている

問題1: ボタンあるいはバンパーの圧迫により潰瘍(かいよう)形成

対応1: PEGを毎日回転させる

問題2: 栄養剤が漏れている

対応2: 毎日水できちんと洗い拭き取る

**※ その他のトラブルは、かかりつけ医または訪問看護ステーションにご連絡ください。**

# 病院緊急時連絡先

※ 造設病院で対応できない時、以下の病院に連絡してください。



医療機関名	日中窓口	電話番号連絡先
	夜間・休日窓口	
東京都済生会中央病院	地域医療センター	03-3451-8211(代)
	救急外来	
国際医療福祉大学三田病院	地域医療連携室	03-3451-8062(直)
	夜間救急外来	03-3451-8121(代)
北里研究所病院	胃腸センター	03-3444-6161(代)
	夜間当直	03-3444-6170~2(直)
虎の門病院	医療連携部	03-3560-7823(直)
	急患処置室	03-3588-1111(代)
せんぼ東京高輪病院	地域医療連絡室	03-3443-9576(直)
	救急外来(代表)	03-3443-9191(代)



# 港区連携PEGパス手帳

☆かかりつけ医

連絡先:

☆かかりつけ訪問看護ステーション

連絡先:

☆かかりつけ薬局

連絡先:

☆PEG造設先病院

連絡先:

患者名: \_\_\_\_\_ 様

生年月日: \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 性別:(M・F)

病院: \_\_\_\_\_ 主治医: \_\_\_\_\_ 科 \_\_\_\_\_ 医師

PEG造設日:平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 造設医: \_\_\_\_\_ 医師

PEG交換予定日:平成\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日頃\_\_\_\_\_

製品名: \_\_\_\_\_

型名(バンパーorバルーン)(ボタンorチューブ)

サイズ:長さ

cm×太さ

Fr

基礎疾患: \_\_\_\_\_

### 使用栄養剤

#### 医薬品

エレンタール エンシュアリキッド ラコール ヘパンED アミノレバンEN

ツインライン ハーモニックF その他( )

#### 食品

ハイネ テルミール テルミールミニ テルミールPG ブルモケア サンエット

リーナレンプロ インパクト グルセル CZポチ CZ-Hi ソフトリカバリー-mini

総カロリー:

kcal

### 栄養剤等の投与方法

:朝 (栄養剤 \_\_\_\_\_ ml) + (水分 \_\_\_\_\_ ml) ( \_\_\_\_\_ 時間) 混注 無 有( )

:昼 (栄養剤 \_\_\_\_\_ ml) + (水分 \_\_\_\_\_ ml) ( \_\_\_\_\_ 時間) 混注 無 有( )

:夕 (栄養剤 \_\_\_\_\_ ml) + (水分 \_\_\_\_\_ ml) ( \_\_\_\_\_ 時間) 混注 無 有( )

その他特記事項 :無 :有(製品名: \_\_\_\_\_)

# 連携PEGパス

経過項目	2週間～1ヶ月	2週間～1ヶ月	2週間～1ヶ月																								
栄養	<input type="checkbox"/> 経口摂取(無・有) <input type="checkbox"/> 栄養剤等の投与量 <table border="0"> <tr> <td>栄養剤</td> <td>水分</td> </tr> <tr> <td>朝 (            ml) + (            ml)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>昼 (            ml) + (            ml)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>夕 (            ml) + (            ml)</td> <td></td> </tr> </table> <input type="checkbox"/> 栄養評価 [良好・普通・問題有]	栄養剤	水分	朝 (            ml) + (            ml)		昼 (            ml) + (            ml)		夕 (            ml) + (            ml)		<input type="checkbox"/> 経口摂取(無・有) <input type="checkbox"/> 栄養剤等の投与量 <table border="0"> <tr> <td>栄養剤</td> <td>水分</td> </tr> <tr> <td>朝 (            ml) + (            ml)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>昼 (            ml) + (            ml)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>夕 (            ml) + (            ml)</td> <td></td> </tr> </table> <input type="checkbox"/> 栄養評価 [良好・普通・問題有]	栄養剤	水分	朝 (            ml) + (            ml)		昼 (            ml) + (            ml)		夕 (            ml) + (            ml)		<input type="checkbox"/> 経口摂取(無・有) <input type="checkbox"/> 栄養剤等の投与量 <table border="0"> <tr> <td>栄養剤</td> <td>水分</td> </tr> <tr> <td>朝 (            ml) + (            ml)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>昼 (            ml) + (            ml)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>夕 (            ml) + (            ml)</td> <td></td> </tr> </table> <input type="checkbox"/> 栄養評価 [良好・普通・問題有]	栄養剤	水分	朝 (            ml) + (            ml)		昼 (            ml) + (            ml)		夕 (            ml) + (            ml)	
栄養剤	水分																										
朝 (            ml) + (            ml)																											
昼 (            ml) + (            ml)																											
夕 (            ml) + (            ml)																											
栄養剤	水分																										
朝 (            ml) + (            ml)																											
昼 (            ml) + (            ml)																											
夕 (            ml) + (            ml)																											
栄養剤	水分																										
朝 (            ml) + (            ml)																											
昼 (            ml) + (            ml)																											
夕 (            ml) + (            ml)																											
保清	<input type="checkbox"/> 口腔内の清潔の状態 [良好・普通・問題有] 問題有: <input type="checkbox"/> PEG部の清潔の状態 [良好・普通・問題有] 問題有:	<input type="checkbox"/> 口腔内の清潔の状態 [良好・普通・問題有] 問題有: <input type="checkbox"/> PEG部の清潔の状態 [良好・普通・問題有] 問題有:	<input type="checkbox"/> 口腔内の清潔の状態 [良好・普通・問題有] 問題有: <input type="checkbox"/> PEG部の清潔の状態 [良好・普通・問題有] 問題有:																								
トラブル観察	1. 嘔吐(無・有) 2. 下痢(無・有) 3. 便秘(無・有) 4. 皮膚障害と漏れ(無・有) 5. PEGのつまり(無・有) 6. PEGが抜けた(無・有) 7. PEGの浮き上がり(無・有) 8. 誤嚥・胃食道逆流(無・有) ⇒ <b>有</b> の場合程度は(重度、軽度) 9. 発熱・感染(無・有) 対応	1. 嘔吐(無・有) 2. 下痢(無・有) 3. 便秘(無・有) 4. 皮膚障害と漏れ(無・有) 5. PEGのつまり(無・有) 6. PEGが抜けた(無・有) 7. PEGの浮き上がり(無・有) 8. 誤嚥・胃食道逆流(無・有) ⇒ <b>有</b> の場合程度は(重度、軽度) 9. 発熱・感染(無・有) 対応	1. 嘔吐(無・有) 2. 下痢(無・有) 3. 便秘(無・有) 4. 皮膚障害と漏れ(無・有) 5. PEGのつまり(無・有) 6. PEGが抜けた(無・有) 7. PEGの浮き上がり(無・有) 8. 誤嚥・胃食道逆流(無・有) ⇒ <b>有</b> の場合程度は(重度、軽度) 9. 発熱・感染(無・有) 対応																								
説明		<input type="checkbox"/> 次回カテーテル交換説明 <input type="checkbox"/> 交換当日の食事について説明 朝7時まで注入を終了 <input type="checkbox"/> 内服は7時まで終わらせる	<input type="checkbox"/> 次回カテーテル交換説明 <input type="checkbox"/> 交換当日の食事について説明 朝7時まで注入を終了 <input type="checkbox"/> 内服は7時まで終わらせる																								
備考		<input type="checkbox"/> 交換依頼	<input type="checkbox"/> 交換依頼																								
バリエーション	無・有(逸脱・変動)	無・有(逸脱・変動)	無・有(逸脱・変動)																								
記入者																											

連携PEGパス研究会

An aerial photograph of Tokyo, Japan, showing a dense urban landscape with numerous skyscrapers and buildings. The Tokyo Tower is prominent on the left side. In the background, a large body of water (Tokyo Bay) is visible with several bridges. A blue banner with white text is overlaid on the image.

港区連携PEGパスをぜひご利用ください！